

# 生成AI活用の現在地点と展望

2026年3月18日

早稲田大学デモクラシー創造研究所 招聘研究員

一般社団法人Maniken 研究員

崇城大学情報学部 非常勤講師

生成AIパスポート取得 (2025.11)

山内 健輔

**IDI** WASEDA University Institute for Democratic Innovation  
早稲田大学デモクラシー創造研究所



※本資料で使用している「地域経営のための議会改革度調査」の数値は2025年中調査の速報値です。

- 会議録の作成に生成AIを利用している
- 会議録の速報に生成AIを利用している
- 会議録の要約に生成AIを利用している

いずれかでも選択した議会数を数えると

20.2% → 40.4%

2倍に増加

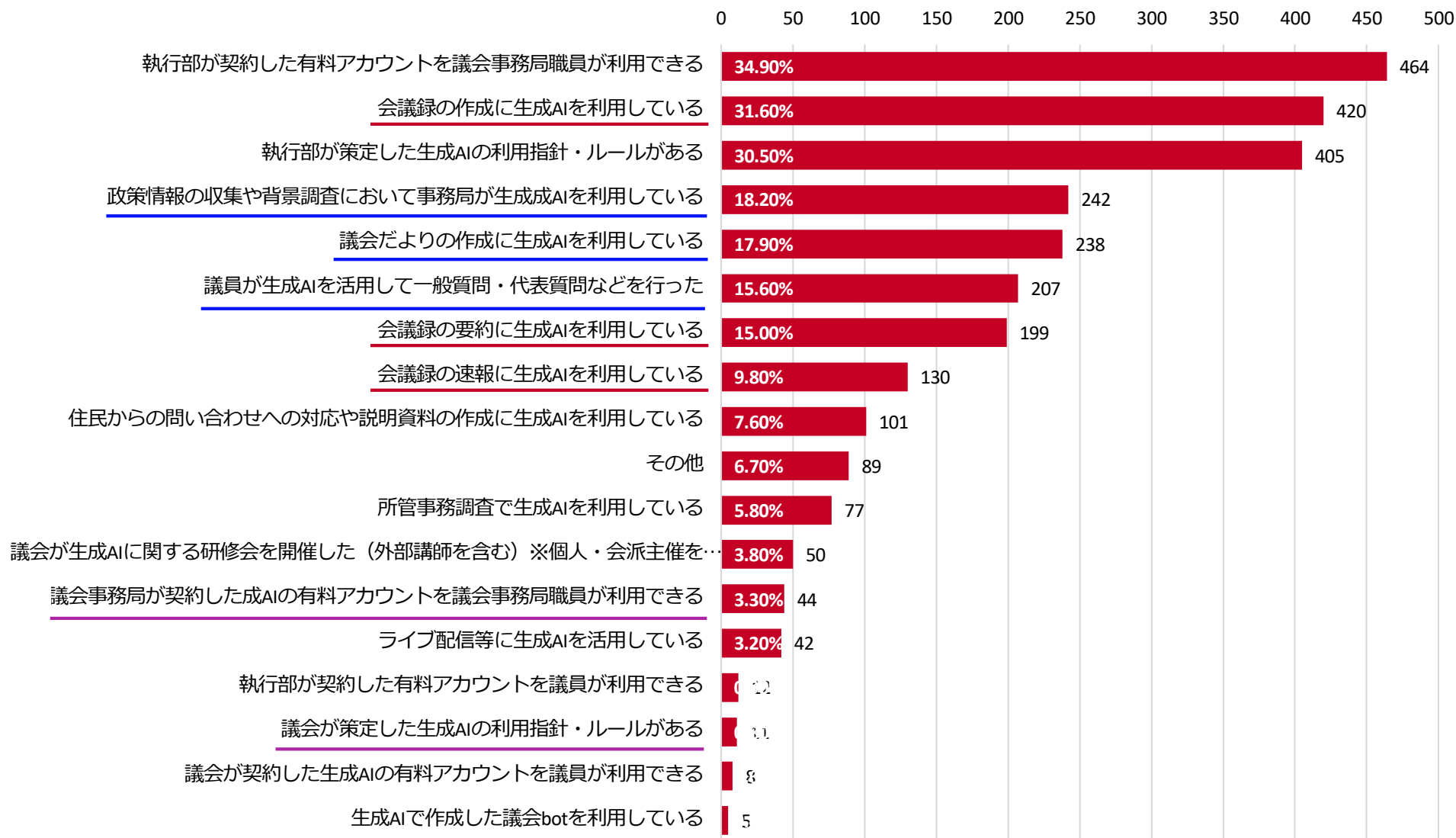
そのうち**50.6%**が

「執行部が契約した**有料アカウント**を議会事務局職員が利用できる」と回答

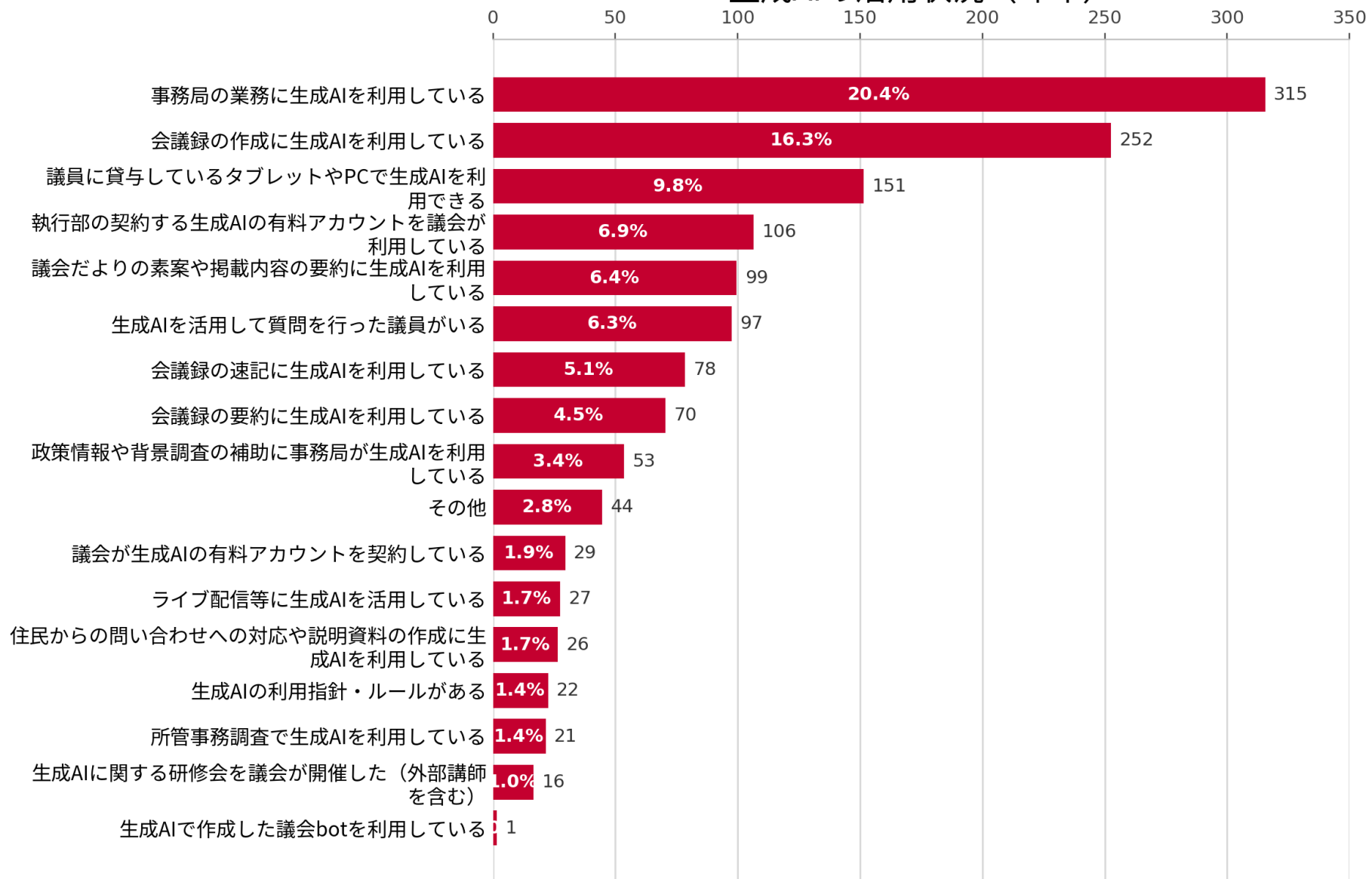
「**議会事務局が契約**した成AIの**有料アカウント**を議会事務局職員が利用できる」は  
**4.9%**（母数は、会議録作成業務のいずれかで生成AIを利用しているを選択した数）

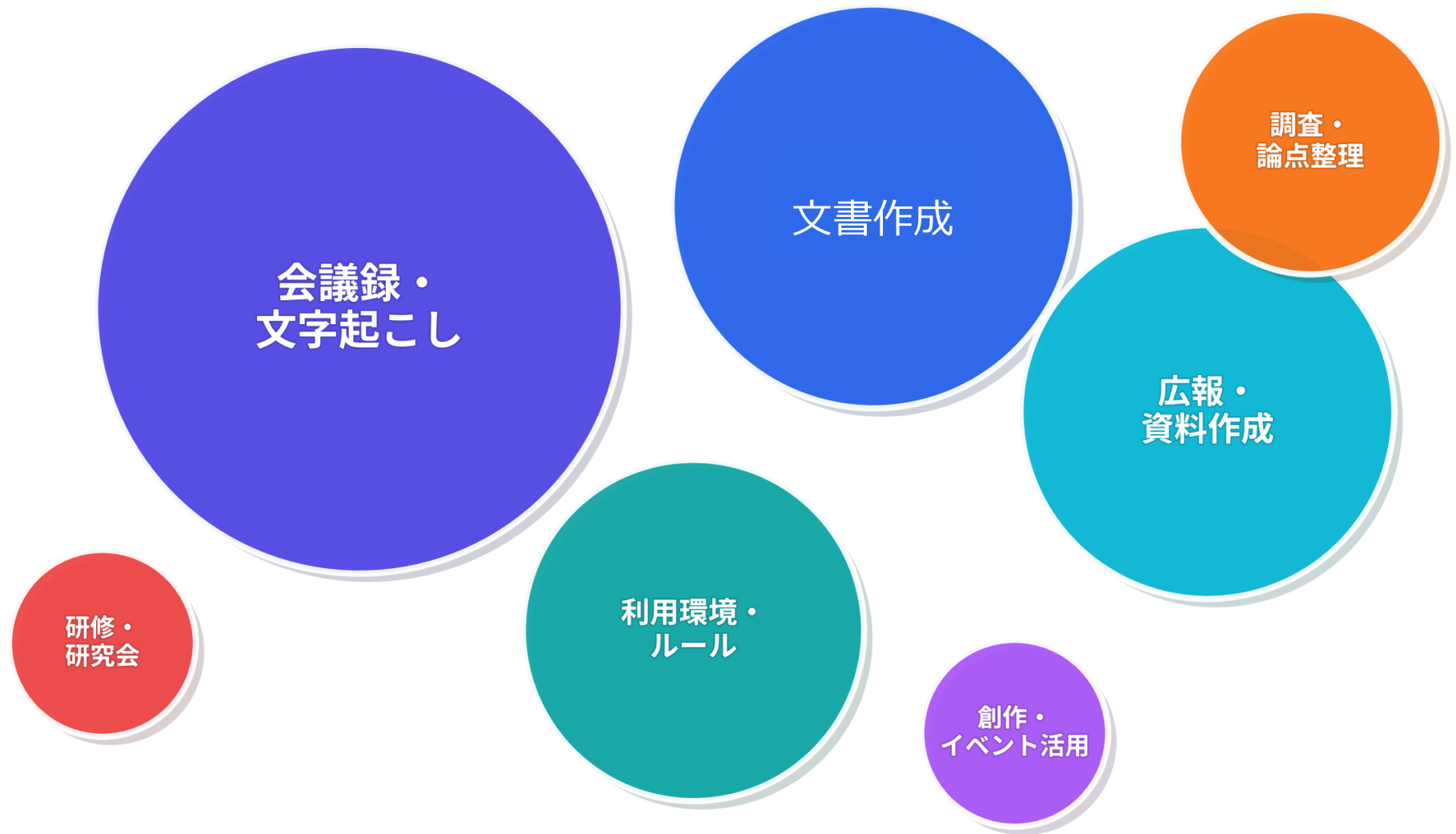
残りは無料版を利用か

## 生成AIの活用状況 (n=1328) \*速報値



生成AIの活用状況（昨年）





## 活用場面の広がり

### 調査 論点整理

- 地区別意見交換会の報告書原案を NotebookLM で作成
- 委員会での論点整理・意見集約・提言作成に活用
- 中学校出前議会の事前アンケートを分類集計

### ルール

- AI生成画像の取り扱いを明記した広報ルール

### 文書作成

- 議長挨拶・祝辞の下書き作成

### 創作 イベント

- ウェブサイトの作成
- 生成AIで傍聴マスコットを作成
- こども模擬議会で、小学生向けに質問・答弁原稿をわかりやすい言葉へ変換
- 議場で、議員が生成AIで作成したイラストを資料として投影

### 研究

- 生成AI政策研究会を議員10名で結成

人間が長時間かけて行っていたものを時間を短縮してより質の高いアウトプットを実現

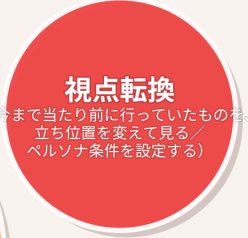
膨大なデータを武器に、人間が行っていなかったこと（難しかったこと）を実現

(今までやっていたことを) 代わりにやってくれる

思いつかないことを教えてくれる

## 効率型

## 創造型



- 執行部同様、住民福祉の増進に責任を負う議会。しかし人的リソースは少ない。
- 生成AIを「効率」、「創造」の両面で活用していく。

## 議会機能の強化へ

### 議会機能

多様な意見を持ち寄り

論点を整理し

異なる意見を集約して

結論を出す

この営みの強化 = 高度化を  
AIが得意なことはAIに任せ人間が得意なことは人間が集中して行う

## AIが得意なこと

- 論点を整理する
- まとめる
- 分類する（違いを探す）
- 根拠を整理する
- 議論の抜け漏れを点検する

## 人間が得意なこと

「AIにやられたら嫌だ」ということは代替されない

- 表情や空気・体温を感じる
- 言葉にならない違和感を受け止める
- 信頼関係を構築する
- 感情を揺さぶる（感動させる）
- 責任を持つ
- 尻拭いをする（謝る）